

## 6月5日（日）総会&講演会の報告

総会では27年度の報告と28年度の予算・計画とも可決されました。

その後、大津市会議員の嘉田修平氏により「和邇川と小さなカメムシの話～河川生態系が存続していくためには？」という講演が行われました。

学生時代に、コバネナガカメムシについての研究をされて、その研究内容をわかりやすくスライドを見ながら説明していただきました。

話の中で、印象に残ったのは、生物の生存に大きく関わる「攪乱（かくらん）」についてです。

「河床が完全に破壊されるような洪水や護岸工事などの大規模な攪乱には適応できず、生物は絶滅していく。しかし、台風などによる河川の氾濫やよし刈りなどの中規模の攪乱は、適応できるし、種が存続していくうえでむしろ必要である。」というお話でした。

お母さんの嘉田前知事も参加され、「自然保護のためにはデータの蓄積が必要であり、聞き取り・メモ・写真など、住民レベルの調査も大切です。」とアドバイスをいただきました。

和やかな交流と学びができ、今後の活動に活かしていきたいと思います。

